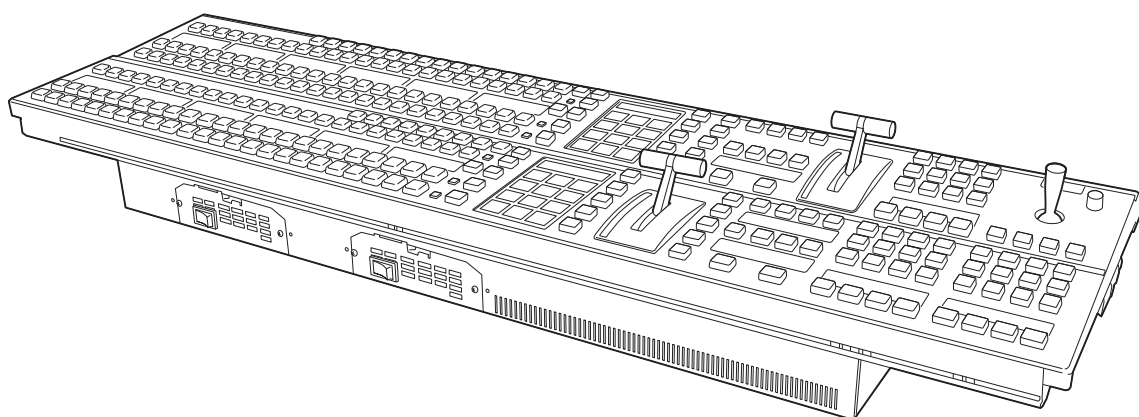


## 取扱説明書

コントロールパネル

品番 AV-HS60C1  
品番 AV-HS60C2



本書は、取扱いガイドより一部の内容を抜粋したものです。詳細は、当社Web サイト (<https://pro-av.panasonic.net/manual/jp/index.html>) に掲載されている取扱いガイド (PDF) を参照してください。

このたびは、“パナソニック製品”をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■ この取扱説明書は、モデルに関わらず共用です。

AV-HS60C1：シングル電源モデル、AV-HS60C2：リダンダント電源モデル

■ 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

■ ご使用前に「安全上のご注意」(3～5ページ)を必ずお読みください。

■ 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

### 保証書別添付

製造番号は、品質管理上重要なものです。製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

## もくじ

---

安全上のご注意 .....	3
電源プラグの接地に関するご注意 .....	5
概要 .....	6
概要 .....	6
定格表示について .....	6
設置 .....	6
付属品 .....	6
各部の名前とはたらき .....	7
操作面 .....	7
前面 .....	11
後面 .....	12
側面（右側） .....	12
初めて電源を入れたときのお知らせ .....	13
定格 .....	14
保証とアフターサービス（よくお読みください） .....	15
修理を依頼される時 .....	15

---

### 本書の見かた

#### ■ 略称について


本書では、以下の略称を使用しています。

- メニューパネル品番の AV-HS60C3G を「AV-HS60C3」と記載しています。

## 安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

 **注意** 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

     してはいけない内容です。

  実行しなければならない内容です。

### 警告

#### 設置業者様向け



■ 電源を入れたまま設置や接続工事、配線をしない  
(火災や感電の原因となります。)

### 警告



■ 本機の設置や接続工事は販売店に依頼する  
(設置や接続工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。)  
⇒必ず販売店に依頼してください。

#### 異常、故障時には直ちに使用を中止する



電源プラグ  
を抜く

■ 異常があったときは、電源プラグを抜く  
[内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき、落下などで外装ケースが破損したとき、煙や異臭、  
異音などが出たとき  
(そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。)  
⇒本機を電源コンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにしてください。  
⇒本機を電源から完全に遮断するには、電源プラグを抜く必要があります。  
⇒お買い上げの販売店にご相談ください。]










■ 電源プラグは、根元まで確実に差し込む  
(差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。)  
⇒傷んだプラグやゆるんだコンセントのまま使用しないでください。





■ 電源プラグのほこりなどは、定期的にとる  
(プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災や感電の原因になります。)  
⇒半年に一度はプラグを抜いて、乾いた布で拭いてください。

■ 付属品・オプションは、指定の製品を使用する  
(本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こす原因になります。)

## ⚠ 警告 (つづき)

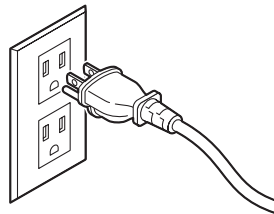
	<p>■ 電源コード・プラグが破損するようなことはしない                      [ 傷つける、加工する、高温部や熱機器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、                      重いものを載せる、束ねるなど ]                      (傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。)                      ⇒電源コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。</p>
	<p>■ コンセントや配線機器の定格を超える使い方や、交流 100 V - 240 V 以外での使用はしない                      (たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。)                      ⇒付属の電源コードは最大定格：AC125 V です。日本国内では 100 V でご使用ください。</p>
	<p>■ 内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない                      (ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。)                      ⇒機器の上や近くに液体の入った花瓶などの容器や金属物を置かないでください。</p>
	<p>■ 不安定な場所に置かない                      (落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。)</p>
 分解禁止	<p>■ 分解や改造をしない                      (内部には電圧の高い部分があり、感電や火災の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。)                      ⇒内部の点検や修理などは、お買い上げの販売店にご相談ください。</p>
 接触禁止	<p>■ 雷が鳴り出したら、本機や電源プラグには触れない                      (感電の原因になります。)</p>
 水場使用 禁止	<p>■ 水場で使用しない                      (火災や感電の原因になります。)</p>
 ぬれ手 禁止	<p>■ ぬれた手で電源プラグやコネクターに触れない                      (感電の原因になります。)</p>
	<p>■ 振動や強い衝撃を与えない                      (火災や感電の原因となります。)</p>
	<p>■ スイッチブランクキャップ (大) / (小)、メモリーカード (別売品) は乳幼児の手の届くところに置かない                      (誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。)                      ⇒万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。</p>
	<p>■ ヒューズの交換は販売店に依頼する                      (火災の原因になります。ヒューズを交換する場合は同じ溶断特性 (T3.15 AH、250 V) のものと交換してください。)</p>

## ⚠ 注意

	<p>■ <b>本機の放熱を妨げない</b> [通風孔やファンは、ふさがない、横倒し、逆さまにしない] (内部に熱がこもり、火災の原因になります。)</p> <p>■ <b>油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない</b> (電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。たばこの煙なども製品の故障の原因になることがあります。)</p> <p>■ <b>直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所に置かない</b> (特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温(約 60℃以上)になりますので、外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になります。) ⇒本機を絶対に放置しないでください。</p> <p>■ <b>電源プラグやコネクターを抜くときは、コードを引っ張らない</b> (コードが傷つき、火災や感電の原因になります。) ⇒必ずプラグやコネクターを持って抜いてください。</p> <p>■ <b>本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない</b> (落下したり倒れたりして壊れ、けがの原因になります。また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になります。)</p>
 電源プラグを抜く	<p>■ <b>長期間使用しないときや、お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く</b> (火災や感電の原因になります。)</p>
	<p>■ <b>コードを接続した状態で移動しない</b> (コードが傷つき、火災や感電の原因になります。また、コードが引っかかって、けがの原因になります。)</p> <p>■ <b>1年に1度程度は、販売店に内部の掃除の相談をする</b> (本機の内部にほこりがたまったまま使用すると、火災や故障の原因になります。)</p>
	<p>■ <b>落としたり、破損させたりしない</b> (本機を落としたり、破損させたりしたまま使用すると、火災や感電の原因となります。) ⇒直ちに電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。</p>

## 電源プラグの接地に関するご注意

- 本機に付属されている AC コードは、接地端子を備えた 3 ピンのコンセントに接続してください。



海外で使用する場合は、その国に合った接地端子付 AC コードを準備してください。

## 概要

### 概要

AV-HS60C1/AV-HS60C2 は、AV-HS6000 スイッチャーシステムを構成する 2ME、24 クロスポイントボタンのコントロールパネル AV-HS60C1/AV-HS60C2 です。

AV-HS60C1 はシングル電源モデル、AV-HS60C2 はリダンダント電源モデルです。

詳しい操作説明については、AV-HS6000 シリーズ取扱いガイドをご覧ください。

### 定格表示について

本機の名称、品番、電気定格は、後面に表示されています。

### 設置

AV-HS6000 シリーズの取扱いガイドを参照してください。

### 付属品

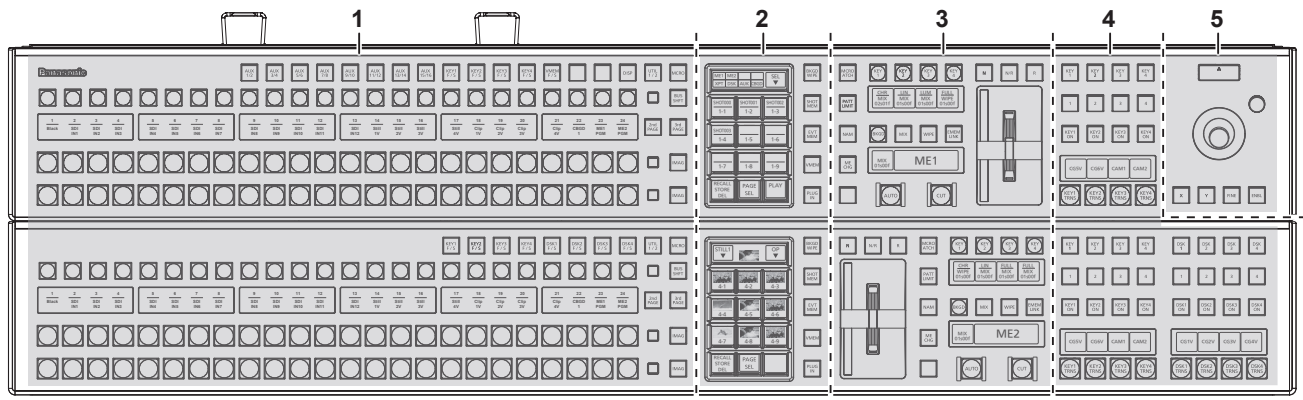
- AC コード
  - AV-HS60C1 : 1 本、AV-HS60C2 : 2 本
- LAN ケーブル 1 本 (メインフレーム AV-HS60U1/AV-HS60U2 と接続)
- スイッチブランクキャップ (大) 24 個
- スイッチブランクキャップ (小) 12 個

### NOTE

- ・ 包装材料は、商品を取り出したあと、適切に処理してください。

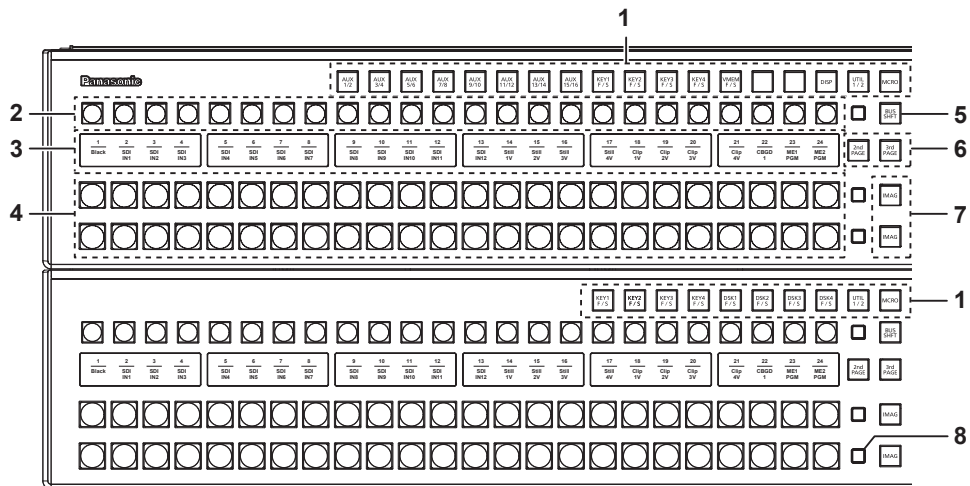
# 各部の名前とはたらき

## 操作面



- 1 クロスポイント部
- 2 マルチセレクトパネル部
- 3 トランジション部
- 4 KEY/DSK オペレーション部
- 5 ポジショナー部

## クロスポイント部



- 1 KEYバス選択ボタン (KEY BUS DELEGATION)  
KEYバスクロスポイントボタンで操作できる機能を切り替えます。

〈AUX 1/2〉～〈AUX 15/16〉ボタン	AUXバスのソース選択ボタンに切り替えます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>●〈AUX 1/2〉～〈AUX 15/16〉ボタンが選択されている状態で、再度同じボタンを押すと、裏のバスが選択されます。(例) AUX1バスが選択されている状態で、〈AUX 1/2〉ボタンを押すと、AUX2バスが選択されます。</li> <li>●〈AUX 1/2〉～〈AUX 3/4〉ボタンは、MIX トランジション機能があります。</li> <li>●〈AUX 1/2〉～〈AUX 15/16〉ボタンは、クロスポイント連動カップリング機能があります。</li> </ul>
〈KEY1 F/S〉～〈KEY4 F/S〉ボタン	キーフィルバス、またはキーソースバスのソース選択ボタンに切り替えます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>●KEYバスクロスポイントボタンで、キーフィル信号、もしくはキーソース信号を選択すると、連動して、もう一方の信号が自動的に選択されます。本機には、連動動作に2つのモードがあります。モードの設定は、トップメニューの〈CONF〉ボタン→[SOURCE LINK]→[Key Assign]タブ→[Master/Slave]で行います。</li> </ul>
〈VMEM F/S〉ボタン	[CLIP1]～[CLIP4] (動画メモリー) および [STILL1]～[STILL4] (静止画メモリー) 入力バスのフィルバス、またはソースバスのソース選択ボタンに切り替えます。
〈DISP〉ボタン	メニューパネル AV-HS60C3 に表示する DISP バスソースの選択ボタンに切り替えます。
〈UT1 1/2〉ボタン	バックグラウンドワイプのポーター、キーエッジに挿入可能なユーティリティ1バス/ユーティリティ2バスのソース選択ボタンに切り替えます。
〈MCRO〉ボタン	KEYバスクロスポイントボタンに割り当てたマクロメモリーを再生スタートするボタンに切り替えます。ボタンの割り当ては、トップメニューの〈MEM〉ボタン→[MACRO]→[XPT Assign]タブで行います。
〈DSK1 F/S〉～〈DSK4 F/S〉ボタン	DSK フィルバス、または DSK ソースバスのソース選択ボタンに切り替えます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>●KEYバスクロスポイントボタンで、キーフィル信号、もしくはキーソース信号を選択すると、連動して、もう一方の信号が自動的に選択されます。本機には、連動動作に2つのモードがあります。モードの設定は、トップメニューの〈CONF〉ボタン→[SOURCE LINK]→[Key Assign]タブ→[Master/Slave]で行います。</li> </ul>

## 各部の名前とはたらき

### 2 KEY バスクロスポイントボタン (1 ~ 24)

KEY バス選択ボタンで切り替えたバスのソースを選択します。  
 〈2nd PAGE〉 / 〈3rd PAGE〉 ボタンを使用して、素材を選択できます。(最大 96 個) (8 ページ)

### 3 素材名表示パネル

クロスポイントボタンの用途を表示します。素材名表示パネルの表示の設定は、トップメニューの〈CONF〉ボタン → [SOURCE NAME] → [Panel Name] タブで行います。  
 マクロバス以外操作時：上段に「クロスポイントナンバー」、下段に「入力素材名称」  
 マクロバス操作時：上段に「マクロ名」、下段に「入力素材名称」

### 4 PGM/A バスクロスポイントボタン (1 ~ 24)、PST/B バスクロスポイントボタン (1 ~ 24)

PGM/A バス、PST/B バスの映像信号を選択します。  
 〈2nd PAGE〉 / 〈3rd PAGE〉 ボタンを使用して、素材を選択できます。(最大 96 個) (8 ページ)  
 ●バスモードの選択は、トップメニューの〈CONF〉ボタン → [OPERATE] → [Transition] タブ → [Bus Mode] コラム → [Bus Mode] で行います。

### 5 〈BUS SHFT〉 ボタン

〈BUS SHFT〉 ボタンを押しながら 〈AUX 1/2〉 ~ 〈AUX 15/16〉 / 〈KEY1 F/S〉 ~ 〈KEY4 F/S〉 / 〈VMEM F/S〉 / 〈UTIL 1/2〉 / 〈DSK1 F/S〉 ~ 〈DSK4 F/S〉 ボタンを押すことにより、バス選択用途を切り替えます。〈AUX 1/2〉 ~ 〈AUX 15/16〉 ボタンは、選択されているボタンを再度押した場合でも、バス選択用途を切り替えることができます。

例) 〈KEY1 F/S〉 ボタンの場合

〈KEY1 F/S〉 ボタンだけを押すと、KEY バスクロスポイントボタンを KEY1 フィルバスのソース選択ボタンに切り替えます。〈BUS SHFT〉 ボタンを押しながら 〈KEY1 F/S〉 ボタンを押すと、KEY バスクロスポイントボタンを KEY1 ソースバスのソース選択ボタンに切り替えます。

### 6 〈2nd PAGE〉 / 〈3rd PAGE〉 ボタン

KEY バスクロスポイントボタン、PGM/A バスクロスポイントボタン、PST/B バスクロスポイントボタンで選択する素材のページを切り替えます。  
 ●該当 ME に含まれるバスのページが一括で切り替わります。個別のバスでページ切り替えを行う場合は、KEY バスクロスポイントボタン、PGM/A バスクロスポイントボタン、PST/B バスクロスポイントボタンに 〈2nd PAGE〉 / 〈3rd PAGE〉 ボタンを割り当ててください。

ボタンの状態		表示されるページ
〈2nd PAGE〉 ボタン	〈3rd PAGE〉 ボタン	
消灯	消灯	1 ページ目
点灯	消灯	2 ページ目
消灯	点灯	3 ページ目
点灯	点灯	4 ページ目

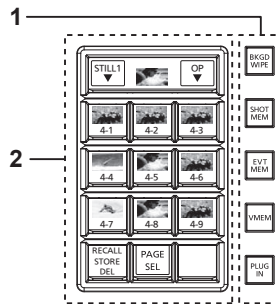
### 7 〈IMAG〉 ボタン

PGM/A バス、PST/B バスで選択された画像に付加するイメージ効果 (ペイント、モノカラー、モザイク、デフォーカスなど) の有効 / 無効を設定します。  
 ●KEY バスで選択された画像に付加するイメージ効果の有効 / 無効の設定は、トップメニューの〈ME1〉 / 〈ME2〉 ボタン → [IMAGE] → [Key1] / [Key2] タブ → [Mosaic/Defocus] コラムで行います。

### 8 バスタリー

バスの出力状態を表示します。オンエアタリーを構成するバスが点灯します。

## マルチセレクトパネル部



### 1 モード選択ボタン

マルチセレクトメニューパネルで操作できる機能を切り替えます。

〈BKGD WIPE〉 ボタン	バックグラウンドのワイブプリセットを選択します。
〈SHOT MEM〉 ボタン	ショットメモリのレジスタメモリー登録 / 呼び出し / 削除を行います。
〈EVT MEM〉 ボタン	イベントメモリのレジスタメモリー呼び出しを行います。EMEM-LINK トランジション時もレジスタメモリー選択で使用します。 ●登録 / 編集はメニューで行います。
〈VMEM〉 ボタン	[CLIP1] ~ [CLIP4] (動画メモリー) および [STILL1] ~ [STILL4] (静止画メモリー) のカレントフレームメモリーへの録画、再生を行います。 ●ストレージモジュール AV-HS60D1 (別売品) を使用している場合は、メインフレーム AV-HS60U1 / AV-HS60U2 に実装した SSD にレジスタメモリー登録 / 呼び出し / 削除できます。
〈PLUG IN〉 ボタン*	プラグインソフトウェアのメニューとして使用します。

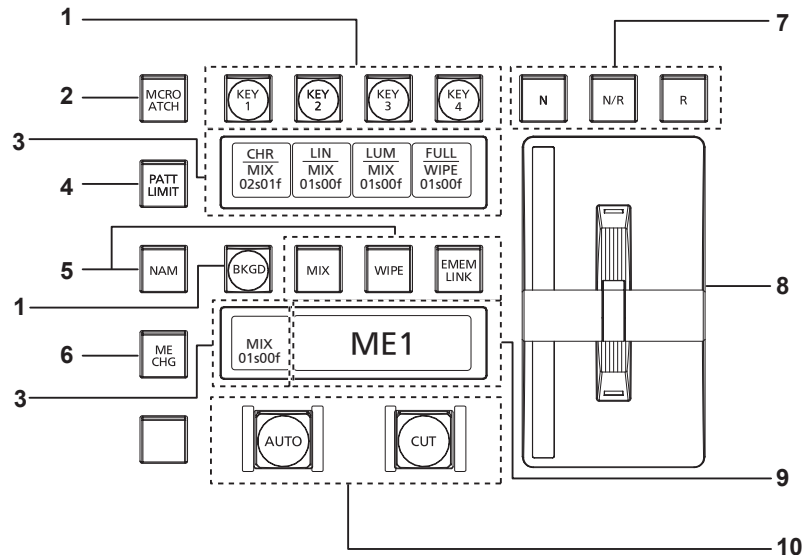
\* 将来対応の機能です。

### 2 マルチセレクトメニューパネル

モード選択ボタンを押すと、表示されるメニューが切り替わります。  
 詳しくは取扱いガイド (PDF) の「マルチセレクトパネル部の基本操作」を参照してください。



## トランジション部



- 1 トランジション対象選択 (〈BKGD〉 / 〈KEY1〉 / 〈KEY2〉 / 〈KEY3〉 / 〈KEY4〉) ボタン  
フェーダーレバー、〈AUTO〉 / 〈CUT〉 ボタンを操作したときに実行される、ネクストトランジション操作の対象を設定します。
- 2 〈MCRO ATCH〉 ボタン  
該当 ME のボタンに割り当てたマクロアタッチ機能の有効 / 無効を切り替えます。
  - オンにすると、マクロアタッチ機能が有効になります。
  - オンにしている間は、マクロアタッチ機能が適用されているボタンが特定の色で点灯します。点灯色の設定は、トップメニューの〈SYS〉ボタン → [CTRL PANEL] → [Button Color] タブ → [No Sel Other] コラムの [Macro Attach] で行います。
- 3 ステータス表示  
キータイプ (KEY のみ) / トランジションタイプ / トランジションタイムを表示します。
- 4 〈PATT LIMIT〉 ボタン  
該当 ME に対して、バックグラウンドのワイブトランジションのトランジション量を制限します。
  - オンにすると、パターンリミット機能が有効になります。
  - パターンリミットの詳細設定は、トップメニューの〈ME1〉 / 〈ME2〉 ボタン → [BKGD] → [Position] タブ → [Pattern Limit] コラムで行います。
- 5 トランジションタイプ選択 (〈NAM〉 / 〈MIX〉 / 〈WIPE〉 / 〈EMEM LINK〉) ボタン

〈MIX〉 ボタン	画像をオーバーラップさせながら切り替えます。トランジション中は、A バス / B バスの出力の合計が 100% に保たれます。 バックグラウンドトランジションでは、〈NAM〉 ボタンがオフの場合に上記の動作となります。 〈NAM〉 ボタンがオンのときは、トップメニューの〈ME1〉 / 〈ME2〉 ボタン → [BKGD] → [Transition] タブ → [Trans Type] コラムの設定に応じて、非加算合成もしくはカラーミックス合成します。詳しくは、取扱いガイド (PDF) の「〈NAM〉 ボタンの設定」を参照してください。
〈WIPE〉 ボタン	メニューで設定、またはマルチセレクトパネル部のワイブプリセットで選択したパターンに応じたトランジションを行います。
〈EMEM LINK〉 ボタン	イベントメモリーで登録したパターンに応じたトランジションを行います。

- 6 〈ME CHG〉 ボタン  
マルチセレクトパネル部の表示を、操作対象とする ME を変更するメニューに切り替えます。
- 7 ワイブ方向選択ボタン  
バックグラウンドトランジション実行時にワイブする方向を選択します。トランジションがキーの場合は動作しません。

〈N〉 ボタン	ノーマル方向にワイブします。
〈R〉 ボタン	リバース方向にワイブします。
〈N/R〉 ボタン	トランジション完了時に、ノーマル方向とリバース方向を入れ替えます。 • ワイブする方向に合わせて 〈N〉 / 〈R〉 ボタンの点灯と消灯も切り替わります。

- 8 フェーダーレバー / トランジションステータス  
バックグラウンドまたはキーのトランジションを実行する場合に使用します。レバーを動かさきると、トランジションが完了します。オートトランジションの実行中にフェーダーレバーを動かした場合は、フェーダーレバーの位置が実行中のトランジション量を追い越した時点でマニュアル動作に切り替わります。  
トランジションステータスの表示の詳細について、詳しくは「トランジションステータス表示」(10 ページ) を参照してください。

- 9 ME ステータス表示部  
操作対象の ME を表示します。〈ME CHG〉 ボタンを使用して、操作対象とする ME を切り替えます。

## 10 トランジション実行ボタン

〈AUTO〉 ボタン	トランジションを自動実行します。(オートトランジション) • トランジションタイムは、トップメニューの〈ME1〉 / 〈ME2〉 ボタン → [BKGD] → [Transition] タブ → [Transition] コラム → [Time] で設定します。
〈CUT〉 ボタン	トランジションを瞬時に実行します。

■ トランジションステータス表示

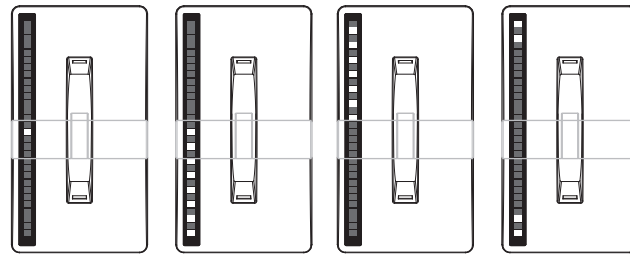


図 1

図 2

図 3

図 4

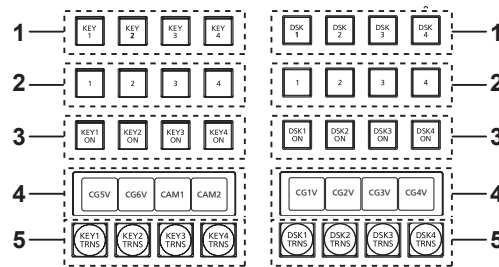
フェーダーレバー左側のトランジションステータス表示は、レバーの位置ではなくトランジション量を意味し、オートトランジションの場合も動作します。

パターンリミット時は、リミット量も表示されます。(図 1)

メモリー再生後やオートトランジション実行後などで、フェーダーレバーの位置と映像量が一致していない場合は、1 つおきの表示が表示されます。片側に表示されている場合 (図 2、図 3) は、表示されている側へレバーを倒してレバーの位置を認識させます。

ネクストトランジションで BKGD、KEY1 ~ KEY4 を複数操作する場合、両側が一致していない状態になる場合があります。その場合は図 4 のようになりますので、フェーダーレバーを一往復させてレバーの位置を認識させます。

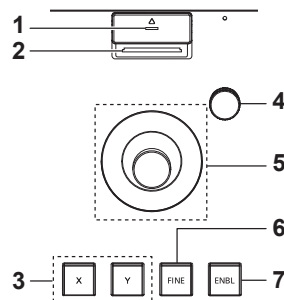
KEY/DSK オペレーション部



KEY オペレーション部 DSK オペレーション部

- 1 操作対象選択 (〈KEY1〉 / 〈KEY2〉 / 〈KEY3〉 / 〈KEY4〉 / 〈DSK1〉 / 〈DSK2〉 / 〈DSK3〉 / 〈DSK4〉) ボタン  
キー / DSK プリセットメモリーの操作対象を選択します。  
また、SEL KEYPVW 出力に表示される対象を切り替えます。
- 2 キー / DSK プリセットメモリー (〈1〉 / 〈2〉 / 〈3〉 / 〈4〉) ボタン  
キープリセットメモリーを呼び出し / 登録します。
  - 短押し : 該当するボタンに保存されていたデータが呼び出されます。(Recall)
  - 長押し : 現在のキーの設定が、該当するボタンに登録されます。(Store)
 長押ししたときに、現在のキーの設定を削除 (Delete) することもできます。詳しくは、取扱いガイド (PDF) の「キープリセット」を参照してください。
- 3 〈KEY1 ON〉 / 〈KEY2 ON〉 / 〈KEY3 ON〉 / 〈KEY4 ON〉 / 〈DSK1 ON〉 / 〈DSK2 ON〉 / 〈DSK3 ON〉 / 〈DSK4 ON〉 ボタン  
各キーをカットトランジションで実行 / 解除します。
- 4 素材名表示パネル  
各キーで選択されている素材名を表示します。
- 5 〈KEY1 TRNS〉 / 〈KEY2 TRNS〉 / 〈KEY3 TRNS〉 / 〈KEY4 TRNS〉 / 〈DSK1 TRNS〉 / 〈DSK2 TRNS〉 / 〈DSK3 TRNS〉 / 〈DSK4 TRNS〉 ボタン  
メニューで設定された各キーのトランジションタイプ、トランジションタイムで、トランジションを実行します。

ポジショナー部



- 1 メモリーカードアクセス LED  
メモリーカードにアクセスしている間、点灯します。  
点灯している間は、本機の電源を切ったり、メモリーカードを抜いたりしないでください。メモリーカードまたはメモリーカードのデータを破損する場合があります。
- 2 メモリーカードスロット  
SD メモリーカード (別売品)、または SDHC メモリーカード (別売品) を挿入します。
- 3 ポジショナー (〈X〉 / 〈Y〉) ボタン

〈X〉 ボタン	ポジショナーの X 軸（左右方向）の操作の有効 / 無効を切り替えます。オンにすると、操作が有効になります。
〈Y〉 ボタン	ポジショナーの Y 軸（上下方向）の操作の有効 / 無効を切り替えます。

#### 4 Z 軸ダイヤル

メニューパネル AV-HS60C3 の数値入力項目で、数値を設定するときに使用します。  
メニューパネル AV-HS60C3 のロータリーエンコーダー左から 3 つ目に対応しています。

#### 5 ポジショナー

メニューパネル AV-HS60C3 の数値入力項目で、数値を設定するときに使用します。  
 ● X 軸（左右方向）：メニューパネル AV-HS60C3 のロータリーエンコーダー左端に対応しています。  
 ● Y 軸（上下方向）：メニューパネル AV-HS60C3 のロータリーエンコーダー左から 2 つ目に対応しています。

#### 6 〈FINE〉 ボタン

ポジショナー操作に対するパラメーターの変化量を変更します。  
オンにすると、より細かい調整が可能になります。

#### 7 〈ENBL〉 ボタン

点灯：ポジショナー、Z 軸ダイヤル操作が有効です。  
消灯：ポジショナー、Z 軸ダイヤルの操作が無効です。

### NOTE

・本機は、電源を入れてから起動完了するまでの間にポジショナーの位置を検出し、中心位置に設定します。起動するまでの間は、ポジショナーに触れないでください。

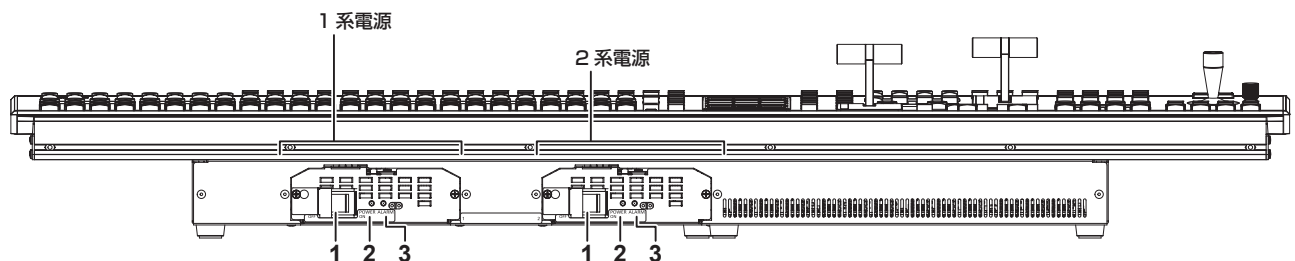
#### ■ メモリーカードについて

本機で使用するメモリーカードは、SD 規格 / SDHC 規格に準拠したものをご使用ください。  
また、メモリーカードのフォーマットは、必ず本機で行ってください。  
本機では、次の容量のメモリーカードが使用できます。なお、SDXC メモリーカードには対応していません。  
SD メモリーカード：8 MB ~ 2 GB まで  
SDHC メモリーカード：4 GB ~ 32 GB まで  
取扱いガイドに記載された情報以外の最新情報は、次の Web サイトを参照してください。  
<https://panasonic.biz/cns/sav/>（日本語のみ）  
<https://pro-av.panasonic.net/>（英語のみ）

● 使用時、保管時は次の点にお気をつけください。

- 高温・多湿を避ける。
- 水滴を付けない。
- 帯電を避ける。

## 前面



#### 1 電源〈POWER〉スイッチ（ガード付き）

電源の入 / 切を行います。  
 ● シングル電源モデル（AV-HS60C1）は、2 系電源の電源〈POWER〉スイッチはありません。  
 ● リダンダント電源モデル（AV-HS60C2）の電源を切る場合は、1 系電源の電源〈POWER〉スイッチと 2 系電源の電源〈POWER〉スイッチを両方〈OFF〉にしてください。

#### 2 電源表示灯

〈AC IN 1〉 / 〈AC IN 2〉 端子に電源が入力されているときに、1 系電源の電源〈POWER〉スイッチと 2 系電源の電源〈POWER〉スイッチを〈ON〉にするとそれぞれに点灯します。  
 ● AV-HS60C1 は、2 系電源の電源表示灯はありません。

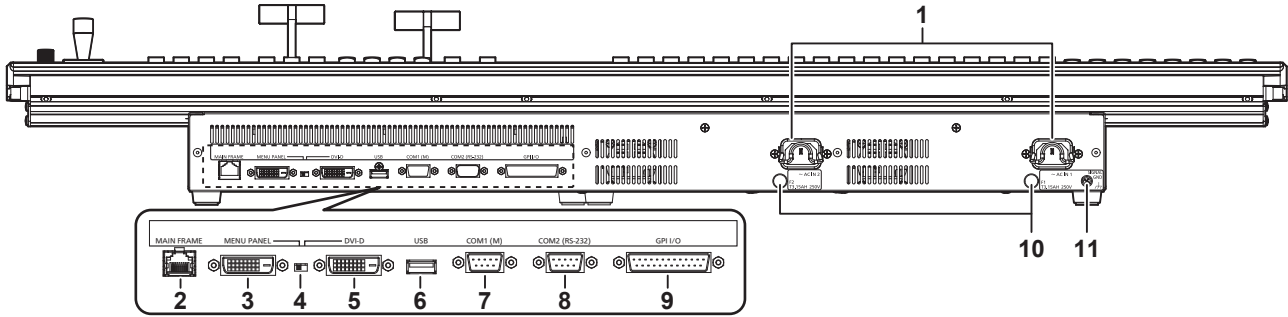
#### 3 アラーム表示灯〈ALARM〉

コントロールパネル AV-HS60C1 / AV-HS60C2 の電源に異常（電圧低下）があるときに点灯します。このとき、メニューパネル AV-HS60C3 にアラームメッセージが表示されます。  
 リダンダント電源モデル（AV-HS60C2）は、1 系と 2 系の両方の電源〈POWER〉スイッチを入れないとアラームが表示されます。  
 アラーム発生中は、トップメニューの〈SYS〉ボタン → [MAINTENANCE] → [Alarm] タブで、異常の内容を確認できます。  
 アラームステータスは、コントロールパネル AV-HS60C1 / AV-HS60C2 の〈GPI I/O〉端子から外部機器に出力できます。  
 ● AV-HS60C1 は、2 系電源のアラーム表示灯はありません。

### NOTE

・アラームが発生した場合は、すぐに使用を中止し、必ず販売店へご連絡ください。そのまま使用すると、本機が故障する原因となることがあります。

## 後面



## 1 〈AC IN 1〉 / 〈AC IN 2〉 端子 (信号 : AC)

付属の AC コードを接続し、もう一方を AC コンセントに差し込みます。(AC100 V - 240 V、50 Hz/60 Hz)

- 付属の AC コードはアース端子付き 3 芯プラグです。接地端子を備えた 3 ピンのコンセントに接続してください。
- 3 ピンのコンセントが使用できない場合は、必ず販売店にご連絡ください。

## 2 〈MAIN FRAME〉 端子 (コネクター : RJ-45 / 信号 : 100Base-TX)

メインフレーム AV-HS60U1 / AV-HS60U2 の 〈PANEL〉 端子または 〈LAN〉 端子に接続します。

- 〈LAN〉 端子に接続した場合、メニューパネル AV-HS60C3 にビデオ表示はできません。

## 3 〈MENU PANEL〉 端子 (コネクター : DVI-D / 信号 : 独自信号)

メニューパネル AV-HS60C3 との接続に使用します。

- 〈DVI-D〉 端子に接続する DVI モニター (コンピューター) との併用はできません。ディスプレイ切り替えスイッチで選択します。
- メニューパネル AV-HS60C3 専用のインターフェースです。DVI 出力機器には接続しないでください。

## 4 ディスプレイ切り替えスイッチ

接続している機器に合わせて、使用する端子を 〈MENU PANEL〉 端子または 〈DVI-D〉 端子で切り替えます。

スイッチの切り替えは、電源が切れている状態で行ってください。電源が入っている状態で切り替えても正常に出力されませんので、再起動が必要になります。いったん電源を 〈OFF〉 にして、再度電源を 〈ON〉 にしてください。

## 5 〈DVI-D〉 端子 (コネクター : DVI-D / 信号 : DVI OUT)

メニュー表示に使用する DVI モニター (コンピューター) 接続用です。

- モニター解像度 : 1366×768 対応のモニター
- 〈MENU PANEL〉 端子との併用はできません。ディスプレイ切り替えスイッチで選択します。

## 6 〈USB〉 端子 (コネクター : USB (タイプ A、メス) / 信号 : USB)

DVI モニター (コンピューター) 上のメニュー操作用です。

- メニューパネル AV-HS60C3 には使用できません。

## 7 〈COM1 (M)〉 端子 (コネクター : D-sub 9 ピン (メス)、インチねじ / 信号 : RS-422)

外部機器制御のマスター接続に使用します。

## 8 〈COM2 (RS-232)〉 端子 (コネクター : D-sub 9 ピン (オス)、インチねじ / 信号 : RS-232)

外部機器制御に使用します。

## 9 〈GPI I/O〉 端子 (コネクター : D-sub 25 ピン (メス)、インチねじ / 信号 : GPI)

外部から本機の制御を行う接点入力ポート (GPI IN) を 8 個、本機からタリーやステータス情報を外部に出力するポート (GPI OUT) を 10 個、アラーム出力専用ポート (ALARM OUT) を 1 個装備しています。

## 10 〈F1〉 / 〈F2〉 端子

(ヒューズ)

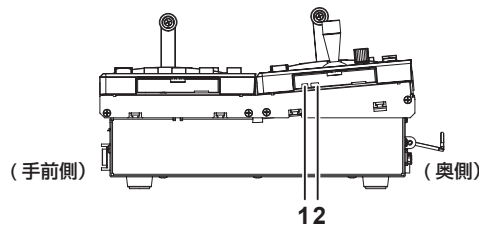
## 11 〈SIGNAL GND〉 端子 (信号 : SG)

システムのグラウンドに接続してください。

## NOTE

- 〈DVI-D〉 端子に接続するケーブルは、2 重シールドケーブルをご使用ください。
- 〈MAIN FRAME〉 端子、〈COM1 (M)〉 / 〈COM2 (RS-232)〉 端子、〈GPI I/O〉 端子に接続するケーブルは、シールドケーブルをご使用ください。
- サブコントロールパネルでは、〈COM1 (M)〉 端子と 〈COM2 (RS-232)〉 端子は使用できません。

## 側面 (右側)



## 1 リセットスイッチ

コントロールパネルのリセットスイッチです。(メンテナンス用)

## 2 サービススイッチ

メンテナンス用のスイッチです。通常は、手前側に設定してご使用ください。

## 初めて電源を入れたときのお知らせ

初めてご使用になるときは、メインフレーム AV-HS60U1/AV-HS60U2 の〈PANEL〉端子に、コントロールパネル AV-HS60C1/AV-HS60C2/AV-HS60C4 を接続し、電源を入れてください。

ご購入いただいたメインフレームとコントロールパネルの組み合わせによっては、両者のファームウェアのバージョンが一致していないことがあります。

メインフレームとコントロールパネルのファームウェアのバージョンが一致していないと、電源を入れたときにコントロールパネルが正常に起動しません。

### バージョンが一致していないときの起動状態

手前側の ME 列に属する PST/B バスクロスポイントボタンのうち 2 つが点滅します。1 つが緑色で点滅し、もう 1 つは赤色で点滅します。(図 1)

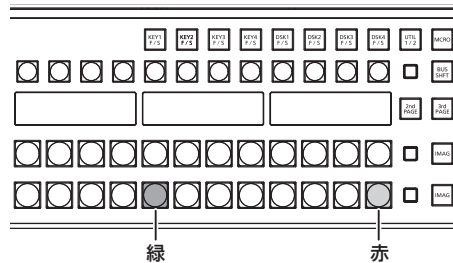


図 1

- この状態になったときは、コントロールパネルのファームウェアバージョンをメインフレームに合わせる必要があります。
- この状態にならずにコントロールパネルが正常に起動したときは、メインフレームとコントロールパネルのファームウェアのバージョンは一致しています。
- 最新のソフトウェア情報を確認し、必要に応じてソフトウェアのバージョンをアップしてください。詳しくは、「ソフトウェアのバージョンをアップする」(13 ページ) を参照してください。

### ■ コントロールパネルのファームウェアバージョンをメインフレームに合わせるには

次の操作をすると、コントロールパネルのファームウェアが更新されます。更新が正しく行われると、コントロールパネルのファームウェアバージョンがメインフレームのファームウェアバージョンと一致し、正常に起動する状態になります。

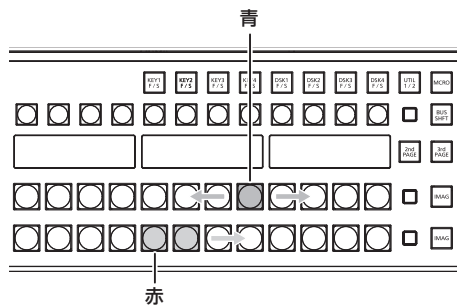


図 2

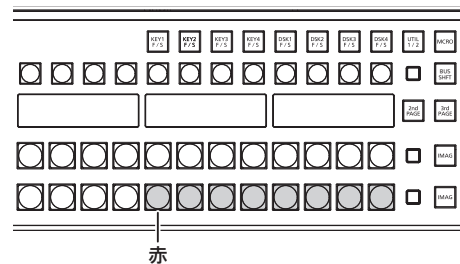


図 3

### 1 赤色に点滅しているボタン (図 1) を押す

ファームウェアの更新を開始します。

- コントロールパネルのファームウェアを更新している状態 (図 2)
  - 手前側の ME 列に属する PGM/A バスクロスポイントボタンのうち 8 つが、青色で左から右へ繰り返し点滅します。
  - 手前側の ME 列に属する PST/B バスクロスポイントボタンのうち 8 つが、赤色で左から右へ順番に点灯していきます。

約 2 分が経過すると、ファームウェアの更新が完了します。

- コントロールパネルのファームウェアが更新完了した状態
  - 手前側の ME 列に属する PST/B バスクロスポイントボタンのうち 8 つが、赤色で点滅したままの状態になります。(図 3)
  - メインフレームのファームウェアバージョンによっては、コントロールパネルが自動で再起動することがあります。このときも、コントロールパネルのファームウェアは正しく更新されています。

### 2 メインフレームとコントロールパネルの電源を切る

- コントロールパネルのファームウェアの更新が完了した状態になってから、電源を切ってください。
- コントロールパネルのファームウェアを更新している状態 (図 2) では、メインフレームとコントロールパネルの電源を切らないでください。

### 3 メインフレームとコントロールパネルの電源を入れる

ファームウェアが正しく更新されると、コントロールパネルが起動し、メニューパネルにメニュー画面が表示されます。

### 4 〈SYS〉ボタン → [MAINTENANCE] → [Boot] タブ → [Initial] コラム → [Initial] ボタンを選択する

### 5 確認画面で [OK] を選択する

AV-HS6000 が初期化されます。

続いて、「ソフトウェアのバージョンをアップする」(13 ページ) の手順へ進んでください。

### ■ ソフトウェアのバージョンをアップする

最新のソフトウェア情報を確認し、必要に応じてソフトウェアのバージョンをアップします。

### 1 〈SYS〉ボタン → [MAINTENANCE] → [Status] タブ → [System Version] コラム → [System Version] を確認する

## 定格

### 2 必要に応じて、ソフトウェアのバージョンアップを行う

次の Web サイトで、最新のソフトウェア情報を確認し、必要に応じてソフトウェアバージョンアップを行ってください。

<https://panasonic.biz/cns/sav/> (日本語のみ)

<https://pro-av.panasonic.net/> (英語のみ)

## 定格

電源 AC～100 V – 240 V、50 Hz/60 Hz 消費電力 40 W
----------------------------------------------------

AV-HS60C2 はリダンダント電源対応

は安全項目です。

### 制御系端子

〈MAIN FRAME〉端子	100Base-TX、AUTO-MDIX 対応 (メインフレーム AV-HS60U1/AV-HS60U2 接続用) ●接続ケーブル (AV-HS60C1/AV-HS60C2 付属) LAN ケーブル (CAT5E)、ストレートケーブル、STP (Shielded Twisted Pair)、10 m ●コネクター: RJ-45 * 〈LAN〉端子に接続した場合、メニューパネル AV-HS60C3 にビデオ表示は行えません。
〈MENU PANEL〉端子	メニューパネル AV-HS60C3 専用 ●コネクター: DVI-D ●独自信号フォーマットのため、DVI-D モニターでは表示できません。 ●〈DVI-D〉端子に接続する DVI-D モニター (コンピューター) との併用はできません。ディスプレイ切り替えスイッチで選択します。
〈DVI-D〉端子	DVI モニター (コンピューター) へのメニュー表示用端子 ●コネクター: DVI-D ●モニター解像度: 1366×768 対応のモニター ●〈MENU PANEL〉端子との併用はできません。ディスプレイ切り替えスイッチで選択します。
〈USB〉端子	DVI モニター (コンピューター) 上のメニュー操作用 ●コネクター: USB (タイプ A、メス) ●メニューパネル AV-HS60C3 には使用できません。
ディスプレイ切り替えスイッチ	〈MENU PANEL〉端子または 〈DVI-D〉端子の切り替えスイッチ
〈COM1 (M)〉端子	RS-422 制御端子 外部機器制御のマスター接続用 ●コネクター: D-sub 9 ピン (メス)、インチねじ
〈COM2 (RS-232)〉端子	RS-232 制御端子 外部機器制御の接続用 ●コネクター: D-sub 9 ピン (オス)、インチねじ
〈GPI I/O〉端子	GPI IN: 8 入力、汎用、フォトカプラー受け ALARM OUT: 1 出力、オープンコレクター出力 (負論理) GPI OUT: 10 出力、汎用から選択、タリール オープンコレクター出力 ●コネクター: D-sub 25 ピン (メス)、インチねじ ●論理はメニューで切り替え可能
ME 数	2ME

### その他

動作温度	0 °C ~ 40 °C
湿度	10% ~ 90% (結露なきこと)
外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行)	980 mm × 153.4 mm × 267 mm (突起部含まず)
質量	AV-HS60C1: 約 13.0 kg (付属品を除く) AV-HS60C2: 約 13.9 kg (付属品を除く)

## 保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取扱い・お手入れなどのご相談は、  
まず、**お買い上げの販売店**へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社（裏表紙）までご連絡ください。

\* 内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますので、ご了承ください。

### ■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめのうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。

内容をよくお読みいただいたうえ、大切に保管してください。

万一、保証期間内に故障が生じた場合には、保証書記載内容に基づき、無料修理させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

### ■ 補修用性能部品の保有期間 **8 年**

当社は、この 2ME ライプスウィッチャーの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8 年保有しています。

\* 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

### ■ 保守・点検

- 保守・点検は機器の機能を常に良好な状態に維持し、お客様が安心してご使用していただくためのものです。
- 部品の劣化、ごみ、ほこりの付着などにより突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能の維持のために、定期的な保守・点検を行ってください。
- 保守・点検（有料）についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 修理、保守、点検時には、情報漏えいしては困る本体設定情報はあらかじめ削除し、SD メモリーカードを外して、ご依頼ください。

## 修理を依頼される時

この取扱説明書を再度ご確認ください、お買い上げの販売店までご連絡ください。

### ■ 保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。詳しくは、保証書を参照してください。

### ■ 保証期間経過後の修理は...

修理すれば使用できる製品については、ご希望により修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	コントロールパネル
品番	AV-HS60C1/AV-HS60C2
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

パナソニック株式会社 コネクティッドソリューションズ社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎ (06) 6901-1161

© Panasonic Corporation 2014